

## 理窓会山形支部からのお知らせ

盛夏の候、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年は置賜地区が当番となり、高畠町の『浜田広介記念館』『高畠ワイナリー』において研修会を開催し、そのあと赤湯温泉『むつみ荘』を会場に総会・懇親会を開催しました。

浜田広介は、山形県の童話作家で「日本のアンデルセン」とも呼ばれ、日本では児童文学の先駆的存在で、作家人生 50 余年の間に、約 1000 編もの童話や童謡を世に送り出しました。「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」などが代表作です。

そのあと、高畠ワイナリーへ足を延ばしたのですが、高畠町はワインで使用するシャルドネ、デラウェアに関しては全国一の出荷量を誇ります。参加者は美味しいワインを試飲しながら、ここでしか買うことのできない貴重なワインをお土産に購入しておりました。

また、総会では事業や決算の報告に続き、令和 3 年度の役員改選も行われ、新支部長に五十嵐慶三氏（昭和 52 年/理工・工化）、本部幹事に玉橋博幸氏（昭和 52 年卒/理・化）が選出されました。懇親会では、恒例となっている地元の日本酒やワインが振舞われ、会員の近況報告や大学時代の思い出話に花が咲きました。

本来であれば、ちょうど今頃は東京五輪の話題が街中に溢れていたはずですが、新型コロナウイルス感染症が広がりを見せる中、様々な制約と自粛を求められ、これからの社会がどう変化していくのか不安にもなります。そこで、今年度の山形支部総会については、山形市を会場に「With コロナ」をテーマにシンポジウムを開催できないか検討中です。

○ 令和 2 年度の役員については次のとおりです。

支部長 五十嵐慶三（新任） 幹事 玉橋博幸（新任） 監事 寒河江 茂（新任）  
事務局 大沼敏美・中村妙子・柏倉直人・鈴木宏史・笹原智也

○ 今年度の総会は村山地区が幹事となり、11月28日(土)に「With コロナ」をテーマにシンポジウムを開催する予定です。 コロナの状況を見ながらではありますが、10月になりましたらご案内を差し上げる予定です。

令和 2 年 8 月

理窓会山形支部 支部長 五十嵐慶三

《連絡》

- 1 同封した納付書により、山形支部会費（2000 円）の納入をお願いいたします。
- 2 本部会費（3000 円）は個人毎に直接本部へ送金してください。  
【 ゆうちょ 00170-1-290 東京理科大学理窓会 】
- 4 県事務局への連絡は、鈴木宏史までお願いいたします。  
【 峰月堂/Mail : hogetsuhiro@yahoo.co.jp/Tel : 023-622-9361 】

